

令和3年度客員教員による

参加無料

ステップアップセミナー

放送大学福岡学習センター・北九州サテライトスペースでは、学生および一般の方を対象に客員教員によるステップアップセミナーを開催します。

参加は無料です。どなたでもご参加いただけます。セミナーの開催時間は2時間で、後半には質疑やディスカッションも行います。

※新型コロナウイルスの影響により、開催中止となる場合がございますので、ご参加にあたっては福岡学習センターホームページを必ずご確認ください。また、開催当日は必ずマスクを着用いただき、手指消毒や咳エチケットにご協力願います。もし、咳や発熱などの症状がある場合は、ご参加をお控えください。

◎ 参加申込方法は裏面をご確認ください。
Webサイトでもお知らせしています。

放送大学福岡学習センター 検索

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/fukuoka/>

スマートフォンはこちらから⇒



福岡学習センター会場

(九州大学筑紫キャンパス E棟5階 講義室)

7月11日(日) 10:00~15:00 (各定員16名) ※参加申込受付は6月11日(金)から開始

<p>池田 浩 九州大学大学院 人間環境学研究院准教授 (10:00~12:00)</p>	<p>モチベーション論から見たアクティブエイジング ～ シニアが生き活きと働くために ～</p> <p>近年、高齢者(シニア)の就業に大きな期待が寄せられています。しかし一方で、加齢に伴ってモチベーションは減少するという見方も根強くあります。果たしてそれは真実なのでしょうか。それともシニアは現役世代と同等のモチベーションをもって仕事に取り組むことができるのでしょうか。このセミナーでは、産業・組織心理学と高齢者心理を基盤にモチベーション論からアクティブエイジングについて考えてみたいと思います。</p>
<p>堀井 伸浩 九州大学大学院 経済学研究院准教授 (13:00~15:00)</p>	<p>再エネ大国・中国、興隆の要因 ～ カーボンニュートラルを目指す我が国が学ぶべきこと ～</p> <p>いまや中国は世界最大の風力・太陽光導入国です。その風力タービンや太陽電池をほぼ自給し、太陽電池は輸出して世界7割のシェアを誇ります。グリーン成長を実現することで再エネの社会的コスト低減に成功しています。何故中国の再エネ産業は国際競争力を持てたのかを明らかにし、カーボンニュートラル目標掲げる我が国がコスト負担で「環境守って国(経済)滅ぶ」とならないためにどのような戦略が必要か考えます。</p>

8月22日(日) 10:00~15:00 (各定員16名) ※参加申込受付は7月22日(木)から開始

<p>坂上 康俊 九州大学名誉教授 (10:00~12:00)</p>	<p>日本律令格式の淵源を探る</p> <p>7世紀後半~8世紀初め、日本は唐の律令を手本に律令法典を編纂し、律令国家を形作ることに成功しました。その後、8~9世紀を通じて、さまざまな単行指令や官府の事例が積み重ねられ、やがてそれらは唐にならって格式という法典にまとめられました。ただ、律令は言うまでもなく、格式においても唐と類似した面と異なる面があります。このことを、唐の律令格式法典の復元研究の現段階を踏まえて解説し、意義を考えます。</p>
<p>藤村 直美 九州大学名誉教授 (13:00~15:00)</p>	<p>社会基盤としてのネットワークの仕組みと活用</p> <p>インターネットが広く普及し、日々の生活はますます便利になっています。しかし、インターネットとそこで提供される様々なサービスを安心・安全・有効に活用するためには、それなりの理解と経験が必要です。ここでは社会基盤としてのネットワークとその活用方法について、教育・学習、電子メール、公開鍵暗号、ブラウザ、セキュリティ、社会制度などを例に紹介します。</p>

12月5日(日)10:00~15:00 (各定員16名) ※参加申込受付は11月5日(金)から開始

<p>佐藤 匡央 九州大学大学院 農学研究院教授 (10:00~12:00)</p>	<p>現代栄養学までの道のり 歴史的に栄養学は「食べなくてはいけないもの」つまり必須性を追求してきました。3大栄養素、食物繊維、ビタミン、ミネラルであります。現代栄養学はエネルギー論から始まり、体調調節バランス、生活習慣病予防まで、幾多の議論(積み上げ、置き換え)を経て成り立っています。本セミナーでは栄養学の歴史を皆さんと辿ってみたいと思います。</p>
<p>山口 裕幸 九州大学大学院 人間環境学研究院教授 (13:00~15:00)</p>	<p>職場の「心理的安全性」醸成に関する社会心理学 社会環境の変化に適応して組織が発展に持続して行くには、創造的な取り組みが必要になります。ところが、組織や職場を変革に導くことは容易くはありません。その壁を越えるには、職場のみならず仕事を通して情報や知恵を共有していく「学習する組織」の取り組みが大事なのですが、その鍵を握るのが職場の「心理的安全性」です。職場の「心理的安全性」はいかにして醸成していくと良いのか、社会心理学的見地から論じます。</p>

2月6日(日)10:00~15:00 (各定員16名) ※参加申込受付は1月6日(木)から開始

<p>田淵 浩二 九州大学大学院 法学研究院教授 (10:00~12:00)</p>	<p>刑事司法の担い手たち 犯罪、捜査、裁判といった刑事司法の分野は社会生活とも馴染みが深く、警察、検察、裁判所、弁護士といった刑事司法の担い手がテレビドラマの主演として登場することも少なくありません。そこで、実際にこれらの担い手たちはいかなる組織の中で、どういう役割を果たすことが期待されており、それをどうやって果たそうとしているかについて、最新版の白書や裁判官の著作物などを読みがら、少し詳しく学んでみましょう。</p>
<p>橋口 暢子 九州大学大学院 医学研究院教授 (13:00~15:00)</p>	<p>室内の温熱環境と健康障害 現在人間は生活を快適なものにするために、環境を変化させることができるようになりました。しかし、人が生活を豊かにするために作り上げた環境が原因となり、健康障害が引き起こされることもあります。本セミナーでは、環境の中でも、特に、室内の温度や湿度などの温熱環境要因がもたらす人の健康への影響について実験データを紹介するとともに、健康に過ごすための対策についてみなさんと一緒に考えていきたいと思います。</p>



北九州サテライトスペース会場

(JR黒崎駅前 コムシティ3階 大会議室)

2月5日(土)10:00~12:00 (定員22名) ※参加申込受付は1月5日(水)から開始

<p>税田 慶昭 北九州市立大学 文学部准教授 (10:00~12:00)</p>	<p>乳幼児期の子どものこころと言葉の発達 子どもたちは成長と共に大きく変化し、また子どもを取り巻く関わりも変化していきます。臨床心理士としての乳幼児健診や子育て相談などの経験も踏まえて、乳児期から幼児期の子ども発達の基盤や親子関係、言葉の獲得などをテーマに子どものコミュニケーション発達について紹介します。</p>
--	---

ステップアップセミナー参加申込方法

受付開始後、①電子メール・②FAX・③お電話 のいずれかの方法にて、下記6項目についてお知らせください。 ※ご注意：受付開始前の申込は一切受け付けません。

【ご連絡いただく項目】

1. 参加希望セミナー名
2. 申込者氏名
3. フリガナ
4. ご住所(市区町村まで)
5. ご連絡先(TEL)
6. 申込者属性(在学生・一般)

- | | |
|---------|--|
| ① 電子メール | ✉ fukuoka-koen@ouj.ac.jp
(セミナー申込受付専用アドレス) |
| ② FAX | 📠 092-585-3039 |
| ③ お電話 | ☎ 092-585-3033 |